

---

一般財団法人 日本水路協会認定

水路測量技術検定試験

---

# 1 級受験手続の手引き

## 1. 受験願書類記入の一般的注意事項

- (1) 水路測量技術検定試験案内（以下「試験案内」という。）を熟読の上、記入してください。
- (2) 記入にはペン又はボールペンを用い、文字は楷書、数字は算用数字 1, 2, 3, …で、わかり易く記入してください。
- (3) 該当する項目の□の中にはV印を記入してください。
- (4) ※記のある欄には記入しないこと。
- (5) 水路測量に関する実務経歴は記入例を参照してください。

## 2. 受験願書の記入要領

- (1) 「初回受験者」とは、次の場合です。
  - ・沿岸 1 級及び港湾 1 級のいずれも初めて受験する場合
- (2) 「2 回目以降受験者」とは、次の場合です。
  - ・前回までの試験において不合格科目を有する者が、その科目を再度受験する場合
  - ・初回の試験において、欠席した者が再度受験する場合
- (3) 2 回目以降の受験者は、前回受験した年度を記入すること。
- (4) 試験の種類及び受験する級は、それぞれ一つだけ選択すること。
- (5) 氏名、連絡先（送付先）、勤務先にフリガナを付けること。
- (6) 写真は記載事項のとおりにならず貼付すること。
- (7) 写真はデジタル画像の貼り付けでも可とするが、画質等の状態が不鮮明な場合は受験願書を受付ない場合があるので注意すること。
- (8) 勤務先（または連絡先）のメールアドレスを記入のこと。
- (9) 勤務先は、会社名（支店名及び部署名等を含む）、郵便番号、所在地及び電話番号を記入すること。
- (10) 測量の実務経験の該当する項目の□の中にV印を記入すること。
- (11) 測量士の資格を有する者は、基準点測量の免除申請欄の□の中にV印を記入すること。
- (12) 資格欄は該当する項目の□の中にV印を記入し、登録番号及び登録年月を記入すること。
- (13) 2 回目以降の受験者は、受験を申請する科目の記入欄にV印（赤色）、合格科目がある場合は、記入欄に○印（黒色）を記入すること。  
また、下位の級に切り替えて受験する場合も同様に記入すること。

(14) 水路測量に関する実務経験は、新しいものから具体的に記入すること(記入例参照)。

記入欄が不足するときは、別紙を用いて記入すること。

(15) 水路測量に関する実務経験について、事業所代表者の証明を受けること。

証明が得られない場合は、別紙誓約書を提出すること。

### 3. 受験願書へ添付すべき書類

(1) 基準点測量の免除を申請する者は、測量士の登録通知書等の写しを添付すること。

(2) 所属した事業所が現存しないとき、又は事業所に所属しないときは、記載事項が真実である旨の申請者の誓約書を添付すること。

(3) 誓約書は、当協会の所定の様式を使用すること。

### 4. 受験書類の提出部数

	項 目	部数	備 考
1	受験願書 1 頁目	1	必須
2	受験願書 2 頁目	1	必須
3	誓約書	1	水路測量に関する実務経験の記載事項欄で所属した事業所の証明が得られない場合
4	測量士の登録通知、 測量士登録通知書 測量士登録証明書の いずれかの写し	1	基準点測量の免除申請をする場合

### 5. 提出先

受験願書に必要事項を記入し必要な書類、写真を添付して①、②の通りに申込みをして下さい。

① 下記の住所に送付する。

② 必ず E-mail にて受験願書を送付した旨の連絡をする。

(可能な限り願書の添付もする。)

住 所：〒140-0001 東京都品川区北品川四丁目7番35号 御殿山トラストタワー 16階  
一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

E-mail: [gi\\_jutsu@jha.jp](mailto:gi_jutsu@jha.jp) 電話：03-6880-7101

(水路測量に関する実務経験欄の記入例)

水路測量に関する実務経験										実務経験は、下欄に記入し事業所代表者の証明を受けること。 証明が得られない場合は、別紙誓約書を添付すること。			
番号	事業		所		実務経験年数			証明区分					
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年	月	証明書	誓約書				
1	日本水路測量（株）	技術部 測量課	東京都品川区北品川4-7-35	2025 年 3 月 2012 年 8 月	70 %	8	10	○					
2	(株)近畿港湾調査	海洋調査部 測量課	神戸市生田区小津1-6	2003 年 3 月 1996 年 10 月	70 %	4	7		○				
3	同上	海洋調査部 調査課	同上	1996 年 3 月 1992 年 4 月	70 %	2	10		○				
4	以下余白			年 月 年 月	%								
5				年 月 年 月	%								
6				年 月 年 月	%								
7				年 月 年 月	%								
8				年 月 年 月	%								
9				年 月 年 月	%								
10				年 月 年 月	%								
実務経験年数合計 16 年 3 ヶ月								上欄に○印をつけて区分すること。					
上記のとおり相違ないことを証明する。  2026 年 ○○ 月 ○○ 日  所 在 地 東京都品川区北品川4-7-35  事 務 所 名 日本水路測量（株）  代 表 者 水 協 太 朗 印													
「1級受験手続の手引き」をよく読んで、間違いのないように記入すること。特に実務経験年数の算出に注意。 記入欄が不足するときは、別紙を用いて記入すること。													

※実務経験年数は、所属期間に従事比率を掛けた年数となります。  
※従事比率は通常71%以下 年間労働日数260日/365日≒0.71  
※受験願書等関係書類は、受付締切り日までに当協会必着のこと。  
※受験料は、検定試験案内の別表2のとおりです。  
※受験料の振込みが確認できない場合は、受験できない場合があります。